

志を立てよ！

先日あるセミナーで松下幸之助の教えについて学ぶ機会がありました。そのなかで特に心に響いたのが「志を立てよ」という言葉でした。志とは自己の特徴（天分）を最大限に見出し活かしながら、世のため人のためになるような大きな目標（=理想）を持ち、その実現の為に生涯を通して努力を続ける事。そして、その追求のための手段（立場・職業）を得ることも必要であると。

私自身を振り返ると、これまで6回の転職を繰り返し、現在7つ目の仕事、「介護・高齢者事業者様向けの人財育成とメンタルヘルスケア」を自身のライフワークとして取り組み、今年14年目になります。

この仕事を始めるまでに、7年の月日を要しました。最初は50歳になった時、10年後 60歳からの人生はどうなるんだろう、生きていけるのだろうかという不安からスタートしました。定年を迎えた時を考えると、転職人生なので退職金も少なく、蓄えもそれほどなく、とても悠久自適の生活はできないと思うと不安しかありません。これまででは行き当たりばったりで生きてきたのですが、初めて生き方について考えました。

定年後何をしようかと考えた時、これまで経験したことのない違う社会で生きるのもいいなと思ったり、あれもしたい、これもしたいと思ううちに頭の中が混乱してきました。そこでまず「60歳からどう生きたいのか、どういう人生でありたいのか」を考えました。

その結果「明るく楽しい人生にする、やりたいことは何でもチャレンジする」を、生きるテーマにしようと決めました。

そうするために必要なものは何かと考えると
「体の健康・心の健康・少しの経済的余裕」
だと気づきました。この3つを得るには
どうするか、「働くことだ」となりました。



では何を仕事にするかと考えた時、働いて収入を得るには自分の経験・知識を活かせるものの方が良い、更に社会に貢献できるものでありたいと考えました。

これを考えていた頃、介護付有料老人ホームの施設長を務めていて、管理職・リーダーの育成がとても重要だと感じていましたので、「人財育成」を自分のこれから のライフワークにしようと心が決りました。

そしていつ始めるか、定年後？ あるいは今すぐ？ などと考えるうちに、「運命に委ねよう。その時が来たら、そのように流れていこう」と心の声がささやきました。



その後、56歳になる年の1月4日に突然「会社に行きたくない」という気持ちが、ふわっと舞い降りてきました。

当時は本社で人材育成部門の責任者として全社の人材育成に一人で取り組み、東京・名古屋・大阪で社員研修を継続的に実施していました。2年半担当し、700人の正社員の職制別研修と、新卒社員の入社時研修（2週間）やフォローアップ研修等の企画・実施をしていました、とてもやり甲斐を感じていた時期でした。

迷いはありましたが「運命の時」が来たのだなと受け入れ、その年の4月末に退職、5月末に起業し現在の「人財育成とメンタルヘルスケア」の仕事に取り組み始めました。

4月末の退職にしたのは、その年の新入社員研修を終えてからにしようとの思いがあったからです。そして5月31日の起業は、会社名の鑑定をしていただいた方から、この年の5月が私にとって人生最高の時で、こういう時に新しいことを始めると必ずうまくいきますよと言われ、司法書士さんに無理をお願いして5月中に会社設立をしました。

退職するまで全力で新入社員研修に取り組んでいましたので、新しい仕事について考える余裕もなく、5月に入っていろいろな方にお会いしアドバイスをもらい、突き進んでいきました。

「志を立てよ」という言葉をセミナーで聞いた時に、50歳の時に自分と向き合い考えたあの時が、私の「志を立てた」時だったように思います。

振り返りますと私のこれまでの人生は、保育園・小学校でのいじめ、社会に出て経験したパワハラ、お客様からのカスタマーハラスメントと、なんで私ばかりがこんな目に会うのだろうと思っていたが、今は「ハラスメント対策研修」「カスタマーハラスメント対策研修」を、経験者として語れる講師になっています。

更にマイナス思考の自分を変えなければと、知人の紹介でNLP（神経言語プログラミング）という心理学を5年間学びトレーナ資格を取得し、自分の思考が柔軟でポジティブに変化し、研修受講生等のカウンセリングをするに至っています。

これまでの人生での経験は、今、そしてこれから生きていくために必要なことを神様から与えられていたのかと気づき、私には人に何かを伝えたり、心のケアをしたりという役割が与えられていたのだなと思うこの頃です。



けあ人財アカデミー合同会社
代表 垣内 イスズ